

水道事業評価(令和3年度)						担当課	上水道維持課
1 事業情報							
目指すべき方向性	安全	基本政策	1 安全・安心な水道水の確保	施策	1-3 安全な水道水の提供	事業	1-3-2 水道管洗浄の促進

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。							
事業目的	水道管の多くは鑄鉄管またはダクタイル鑄鉄管であり、管内面に防錆処理をしていますが、鉄錆の発生等により濁り水が発生する恐れがあります。そのため、水道管内の洗浄作業を実施することにより、管内状態を改善し、安全・安心な水道水を提供します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・配水管洗管計画に基づき、効率的に洗管作業を行います。 ・水質劣化の起こりやすい配水管端末地区やお客様ニーズの高い地区において定期的に排水作業を行います。							
期間	令和3年4月 ～ 令和4年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	28,435	28,435	0	7,329	7,329	0	26%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	28,435	28,435		7,329	7,329		26%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	11,455			11,455			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	5,353千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	19%		
進捗状況	・業務委託は発注済であり、洗管作業も予定通り進めています。 ・水質劣化の起こりやすい配水管端末地区は定期的に排水作業を行っています。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	・ブロック化事業にて洗管作業を行いました。 ・水質劣化の起こりやすい配水管端末地区(18箇所)において定期的に排水を行い水質劣化を防ぎました。 ・赤水の苦情により管内調査を16箇所行いました。			
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた			
事業達成度 C～Eの理由				

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	【PI C505】水質に対する苦情対応割合	単位	件/千件	目標値	0.43	0.43	0.43	
算出式・根拠	(水質苦情対応件数/給水件数) × 1,000				実績値	0.26	0.22	0.35
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	今後も配水管洗管作業を継続し、実施地区の管網特性を把握しつつ今後の維持管理に活かします。 また、水質劣化が起こりやすい配水管路端末地区等については、継続して排水作業を行っていきます。	現状維持で継続